

(様式1)

学校名	福島県立平支援学校	校長	神田豊
住所	いわき市平上平窪羽黒40-45		
TEL	0246-24-2501	URL	https://taira-sh.fcs.ed.jp/
児童生徒会（小・中） 「エコキャップ運動」 JRCボランティア部(高等部) 「当事者目線のボランティア」			
取組の概要			
児童生徒会「エコキャップ運動」 ふくしまキッズエコ運動の取組に協力させていただき、途上国の子どもたちにポリオワクチンを届けるために、ペットボトルキャップを回収する活動を行っています。			
JRCボランティア部 創部7年間、毎年日本赤十字社主催「赤十字・いのちの俳句コンテスト」に応募し、献血の呼び掛け、古本集めを行っています。今年度は、台風19号の被災を目の当たりにしたことから、福祉避難所についてのあり方を考える活動を行っています。			
内 容			
児童生徒会「エコキャップ運動」 月に一度、児童生徒会役員が学校内に2か所ある回収場所からペットボトルキャップを集めています。昨年度末に、ふくしまキッズエコ運動事務局の方に回収に来ていただいた際には、合計300kg、ポリオワクチンの数にすると75人分のペットボトルキャップを回収していただきました。来年度も、一人でも多くの子どもたちの命を救えるように、この活動を続ける予定です。			
			
JRCボランティア部「当事者目線で福祉避難所の在り方を考える」 台風19号について、校内で集めたアンケートによると、「自宅の近くの避難所ではスペースが狭く車椅子では移動しづかったこと」「福祉避難所の開設手続きがわからなかったこと」「福祉避難所がどこにあるのかわからなかったこと」などいろいろな困り感が分かりました。そこで、そのことを皆で話し合い「災害の時は一番初めに福祉避難所を開設してほしい」という意見をまとめました。そして皆で話し合った福祉避難所の在り方をいわき市役所に届けに行くという活動を行いました。今後も継続して取り組んでいきたいと思えます。			
参加者の感想			
児童生徒会「エコキャップ運動」 「重くて大変だったけど集めてよかった。」「また来年も頑張りたい。」			
JRCボランティア部 アンケートをとることで、同じ学校内にいても台風19号の時に困ったことがみんなそれぞれに違うことが分かりました。本校は、福祉避難所に指定されています。スロープもあるしバリアフリーのトイレもあるし広いからです。本校は、災害の時安心して避難してこれる場所なので、災害が起きたらみんな一番に避難してこれるところになれるといいと思えます。			
作成	西暦2020年3月		